

2021年2月12日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長グループ COO
 里 見 治 紀
 (コード番号 6460 東証第一部)
 問 合 せ 先 上席執行役員財務経理本部長
 大 脇 洋 一
 (電話番号 03-6864-2400)

通期業績予想および配当予想の修正ならびに株主優待廃止に関するお知らせ

当社は、2020年11月6日に公表した通期業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、期末配当予想の修正および株主優待の廃止について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2021年3月期通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 283,000	百万円 △1,500	百万円 △5,000	百万円 △24,500	円銭 △104.21
今回発表予想 (B)	276,000	9,000	7,000	△3,000	△12.76
増減額 (B-A)	△7,000	10,500	12,000	21,500	—
増減率 (%)	△2.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	366,594	27,643	25,296	13,775	58.65

(参考情報：2021年3月期通期業績予想セグメント別内訳)

(単位：百万円)

セグメント		前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B-A)
売上高	合計	283,000	276,000	△7,000
	遊技機事業	60,000	51,500	△8,500
	エンタテインメント コンテンツ事業	216,000	218,000	2,000
	リゾート事業	6,500	6,000	△500
	その他/消去等	500	500	—
経常利益 (※)	合計	△5,000	7,000	12,000
	遊技機事業	△10,500	△12,500	△2,000
	エンタテインメント コンテンツ事業	24,000	36,000	12,000
	リゾート事業	△11,000	△9,000	2,000
	その他/消去等	△7,500	△7,500	—

※2021年3月期より、セグメント利益の測定方法を「経常利益」に変更しております。

(2) 通期連結業績予想修正の理由

エンタテインメントコンテンツ事業におけるコンシューマ分野の好調が持続している事を主因に、営業利益・経常利益が大幅に改善し黒字転換する見込みとなりました。

また、引き続き当社が取り組んでいる構造改革に伴う特別利益の計上額が前回予想を上回る見込みであることから、親会社株主に帰属する当期純利益においても前回予想から大幅に改善する見込みとなりました。

事業別の状況および構造改革の取り組みについては下記のとおりです。

(遊技機事業)

最適な販売時期を慎重に見極めた結果、パチスロ・パチンコともに、第4四半期に投入予定であった一部のタイトルの販売を翌期に変更したことから、2021年3月期における販売タイトル数・販売台数が前回予想から減少する見込みとなりました。また、引き続き部材等の棚卸資産の精査を進めていることから、期末に一過性の費用の計上を想定しております。これらのことから、売上高・経常利益ともに前回予想を下回る見込みです。

(エンタテインメントコンテンツ事業)

引き続きリピートタイトルの販売及びF2P（フリートゥプレイ）のタイトルが堅調に推移していることに加え、第4四半期発売の新作タイトル「ペルソナ5 スクランブル ザ ファンタム ストライカーズ（欧米版）」の事前予約が好調なことを主因に、コンシューマ分野が前回予想を大きく上回る見込みとなりました。また、コンシューマ分野以外の各分野においても全体的に前回予想から改善傾向にあることから、売上高・経常利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

(リゾート事業)

売上高は概ね前回予想と同水準となる見込みですが、日本IR向けの先行費用の未発生や海外において『パラダイスシティ』におけるコストの抑制が進んだことに伴い、経常損失が改善する見込みとなりました。

(構造改革の取り組み)

引き続き、固定資産・投資有価証券等の非事業性資産を中心にバランスシートの見直しを進めていることから、特別利益は通期で 260 億円（前回予想 75 億円）と前回予想よりも増加する見込みです。一方で、引き続き事業ポートフォリオの見直し等に関する取り組みを継続していることから、特別損失についても通期で 380 億円（前回予想 340 億円）と前回予想から増加する見込みとなりました。

2. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正内容

基準日	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		未定	未定
今回修正予想		20円00銭	30円00銭
当期実績	10円00銭		
前期実績 (2020年3月期)	20円00銭	20円00銭	40円00銭

(2) 配当予想修正の理由

上記業績予想の修正のとおり、改善傾向にある直近の業績や将来的な投資及びキャッシュフロー等を総合的に考慮した結果、期末配当予想については中間配当から 10 円増額となる 1 株当たり 20 円といたしました。

3. 株主優待の廃止

(1) 株主優待制度廃止の理由

当社は、多くの株主の皆様にご当社サービスを体験していただき、中長期にわたり当社株式を保有していただくことを主な目的に、株主優待制度を実施してまいりました。

しかしながら、このたびの新型コロナウイルスの影響により不透明な経営環境の継続が想定される中、外部環境に適応すべく取り組んでいる構造改革の一環として、株主優待制度のあり方を慎重に検討した結果、株主優待制度を廃止することといたしました。

(2) 変更の時期

既に配布済みである 2020 年 9 月 30 日現在の当社株主名簿に記載された株主様への贈呈を最後に、株主優待制度を廃止いたします。

(3) 配布済み優待券の取り扱い

配布済みの優待券につきましては、券面に記載された有効期限までご利用いただけます。

※本資料内に記載した業績予想等につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上